

第24回

- 講演者: 正宗 淳 氏 (北海道大学理学部数学科)
 - 題目: リーマン多様体のリュービル性について
 - 日時: 2018年 03月 09日 (金) 16:30 ~ 17:30

リーマン多様体 M 上の関数の集合 F に属する調和関数が定数に限るとき, M は F -リュービル性を満たすという F -リュービル性に関する代表的な結果として, 完備多様体は L^p -リュービル性 ($1 < p < \infty$) を満たすことが知られている (Yau 1976) 一方, $p=1$ の場合は, L^1 -リュービル性を持たない完備多様体の例 (Li-Schoen 1984) も知られており, 状況は複雑である。本講演では, L^p -リュービル性が成立しない例を述べ, 次に, 多様体のエンドに対して「小さいエンド」と「大きいエンド」を熱核に関する概念を用いて定義して, それらを用いて L^1 -リュービル性が成立しない条件を得る。本講演の内容は, R. Wojciechowski 氏と講演者, また, A. Grigoryan 氏と村田 寛氏と講演者の共同研究の結果の一部である。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

4 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2017/024>

Last update: 2018/03/12 14:50

